

社会・意識調査データベース (SORD) プロジェクトとホームページの紹介

是永 論・石井 和平

1. プロジェクトの紹介

本学の是永と申します。これから社会・意識調査データベースプロジェクトについてご紹介致します。私共は、社会・意識調査データベースを SORD という略称で呼んでおりますが、これは Social Opinion and Research Database の頭文字をとった呼び方です。今後、この略称を使わせて頂くことにします。

さて、私は SORD プロジェクトの内容ということで、次の5点のことにに関して紹介致します(図1)。一つは、この SORD プロジェクトの基本理念。二つ目はこれまでのプロジェクトにおける取り組み。三つ目はプロジェクトの成果であり、四つ目はそうした取り組みの中で生じたプロジェクトの課題。最後に今後どのような取り組みが行われていくかという方向に関して話をさせていただきます。

まず最初に、SORD プロジェクトの基本理念ということで、ここでは、大きくみて三つの点が基本理念として挙げられます。一つ目は、データを提供した者が相互に利用しあうこと、二つ目はデータベースの作成と利用についての基礎的な研究を行うこと。三つ目は、それによって実際にデータベースを構築していくということです。特に今後さまざまなデータベース化の活動が出てくると思いますが、SORD プロジェクトの持つその中の意義というのは、二つ目の点である作成と利用についての基礎的な研究、基礎的な研究をこの中で行っていくということにあります。

従って、ここで非常に大規模なものを構築するというよりは、どのような利用が可能であるかを考えていく中であくまで基本的な研究を行っていく性質のものであるとご理解頂きたいと思います。以上の三点の中で、データの提供者、データの利用者、データベース作成者の協力関係を築き上げていくということが、このプロジェクトの基本理念となっています。

次に、これまでの取り組みについてですが、本年度の活動内容を中心に申し上げます(図2, 3)。一つは「日本の社会・意識調査(1)~(3)」が発行され、後に説明する Web ページ化が行われております。もう一つの SORD の仕事としては、5 番のデータアーカイブ連絡会のような形で、他のデータベース開発プロジェクトとの連携活動が本年度から新たに行われています。さらに具体的な成果について5点ご紹介致します(図4)と、一つ目は社会調

1.SORDプロジェクトの基本理念

- ①データを提供したものが相互に利用しあう中で、
- ②データベースの作成と利用についての基礎的な研究を行ない
- ③実際にデータベースを作り上げていく

→提供者・利用者・データベース作成者の協力関係

2. これまでの取り組み

- 1991年度 プロジェクト開始
 1992年度 第1回WS：活動方針決定
 1993年度 社会調査の概要情報収集開始
 ※ 33%が素データ公開可能
 第2回WS：科研費申請決定
 報告書（1）作成・配布
 1994年度 追調査実施
 第3回WS：データ利用規約
 報告書（2）作成・配布
 1995年度 第4回WS：素データ作成検討

図2 これまでの取り組み-1

1996年度 第5回WS：素データ作成実験報告 1997年度

- 1) 科研費採択
- 2) 「日本の社会・意識調査（3）」発行
- 3) 「日本の社会・意識調査（1）～（3）」のWebページ化（'98年4月より運用予定）
- 4) 素データの試験的作成
- 5) データアーカイブ連絡会（東大社研）
データアーカイブ活動の課題について意見交換
マイクロデータの保存と活用に関する連絡協議会の発足
- 6) 第6回WS

図3 これまでの取り組み-2

3. SORDプロジェクトの成果

- 1) 社会調査に関するデータの収集
※調査概要・調査票・報告書・素データ
- 2) 概要情報のデータベース化
- 3) 報告書・Webページの作成
- 4) 報告書配布による協力関係の形成
- 5) 素データ収集の準備
※フレームワーク作成（資料参照）

図4 SORDプロジェクトの成果

査に関するデータの収集ということ、実際に日本社会学会において行われている調査、社会調査に関する概要情報を主に蓄積しています。その調査概要情報だけでも1,144件ほどありますが、その他にも調査票（質問用紙）164件、調査により作成された報告書58件、また実際に利用できる素データというものを、少数ですが収集しております。二つ目は、それらの情報のデータベース化。三つ目に、そのデータベース化したものを、今まで3回にわたる報告書ならびにWebページに掲載しました。四つ目は、基本理念にもあるように実際にデータベースを作っていく中で、データ提供者、利用者それぞれの協力関係が形成されてきたことです。五つ目には、素データ収集の準備ということ。実際に行われ

ている調査の素データをどのように収集し、それをまた再利用していくためにどのような形で整理していくのかということに関して、「素データ作成フレームワーク」を作成し、実際にデータベース化できるような形で、素データを提供していく試みに取り組んでいます。

続いて、SORDプロジェクトのこのような中で抱えてきた課題に関して5点ほどお話をさせていただきますと（図5、6）、一つは、現在まさに直面しているWebページ化の問題であります。データ提供者に対する掲載可否の問い合わせを2回ほど行いましたが、回収途中ながら現時点では、回答頂いた方の89.5%の調査が掲載可となっております。ただし、公開対象や掲載内容に対する問題等いくつかありますが、特に現状では、公開しても問題がないということがデータ提供者の方に確認されたものだけを掲載するというので、現在455件を掲載しています。二つ目は、先ほど申しました素データの公開に関する課題です。これは現状取り組んでいるものですが、まずデータを公開できる形にする段階で非常に様々な問題があり、次にそれを素データとして維持管理していく点でも問題があり、さらにデータを整理していく作業の負担も大きいという問題があり、それらをいかに軽減化していくか、という課題があります。三つ目は、

4.SORDプロジェクトの課題

4.1 Web掲載

掲載可 回答者中89%('98年2月)

公開対象・掲載内容の問題

→公開しても問題ないもののみ掲載

※407名・1144件に可否を問い合わせ中

図5 Web掲載に関する課題

4.2 素データ公開

- 1) データの維持管理
- 2) データ整理作業の軽減
- 3) データ利用教育の整備
- 4) 被調査者のプライバシーの保護

● 対策

- 体制の維持
- 倫理規約の考慮
- 契約関係
- 教育との連携

図6 素データ公開に関する課題

素データの利用をどのように考えていくか、という点です。四つ目は、素データを公開することによって、被調査者のプライバシー等が脅かされる危険がある点です。これに関しては、素データを作成していく体制の維持、倫理規約の制定などが考えられます。

最後に、今後の取り組みとして5点ほど紹介します。まず、先ほど調査概要から素データまでいろいろと収集していると申しましたが、そういったデータを更に追加、蓄積していくこと。二つ目は、これからご紹介するWebページ掲載に関して、より効率的に維持管理していく体制を作っていくということです。三つ目は、素データの作成の段階で生じた問題をどのように解決していくか、という点です。四つ目は、データ活用について、特に教育での活用として、それをデータベース化の活動といかに連携させていくかについて取り組む必要があると思われます。五つ目は、各機関で行われているデータベース化活動といかに連携していくか、という点です。私の報告内容としては以上です。

2. ホームページの紹介

本学の石井と申します。これから社会・意識調査データベース(SORD)のホームページの内容についてご紹介致します。ホームページの表紙をお見せします(図7の表紙画面)。

暫定的なものですから、今後変更があるかもしれませんが、このアドレス(<http://postpc.sgu.ac.jp/SOCIO/sordhp/>)にアクセスしますと本ホームページをご覧頂けます。

本ホームページの掲載項目は、左側のフレーム(図7)に記載されている通り、「ニュース」、「更新履歴」、「プロジェクトの紹介」、「蓄積情報の概要」、「調査概要の閲覧」、「入力フォーム」、「公開中の調査データ」、「関連するURL」、「交流の広場」、「事務局からの連絡」等です。以下、簡単に各項目をご説明致します。

【ニュース】これは、随時本プロジェクト活動に関する催し物を掲載する欄でございます。本日のワークショップの「ご案内」も掲載しております。

【更新履歴】ここには、本ホームページの更新や追加に関する履歴情報を掲載しています。

【プロジェクトの紹介】ここでは、当該プロジェクトの紹介を行っております。

【蓄積情報の概要】ここでは、SORDプロジェクトで蓄積する情報やデータについて、その概要を紹介しています。また、蓄積している調査概要情報の単純集計結果をわかりやすく表やグラフにして掲載しています。例えば、調査の領域というのをクリックすれば、領域の調査別に何件の調査についてその概要情報を蓄積しているかということを知ることがで

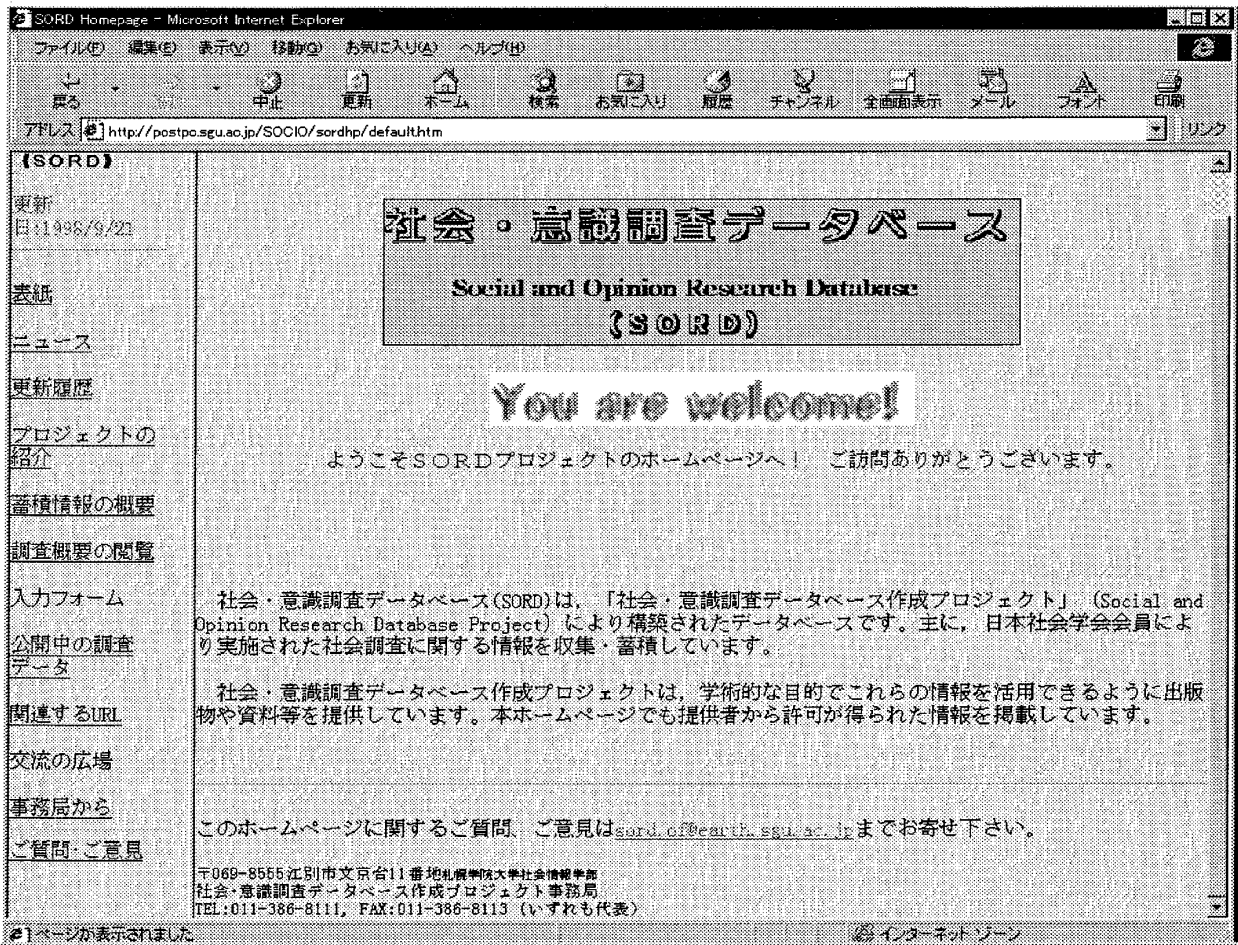


図7 「社会・意識調査データベース (SORD)」ホームページ

きます。ここでは、「地域社会・コミュニティ」に関する調査情報が一番多いということがおわかり頂けると思います。

【調査概要の閲覧】ここでは、本プロジェクトが蓄積する調査概要情報を検索、閲覧することができます。検索では、直接、調査概要情報データベースにアクセスして情報を取り出し、それを閲覧することができるようになっています。本閲覧は、本プロジェクトで作成した「社会調査概要情報のWWW掲載・閲覧要領」に基づいて行われています。この要領は「WWW掲載・閲覧要領」をクリックしますと見ることができます。なお、データベースソフトとしては、WindowsNTサーバー上のファイルメーカーProを使用しています。

【入力フォーム】次に、入力フォームですが、SORDに調査概要情報を提供して下さる方

の便宜をはかるために2つの方式を提供する予定であります。電子メールによる方式とWeb上で直接に調査概要情報を入れていく方式です。

【公開中の調査データ】これは、もう一つのSORDの柱である調査の個票データ(素データ)について、一覧表の形でどのような調査データが公開されているかを紹介しています。これについては、ここから直接調査データを入手できるわけではありません。利用に際しては、SORD事務局が窓口となり、データ提供者と利用者間で誓約書を交わし、データ提供者の承認を得た後にデータを入手できるという形になっております。

【関連するURL】関連するWWWページへのリンク集を載せています。

【交流の広場】これは、利用者とSORDプロ

プロジェクト間の意見交換や利用者同士の情報交換を支援するような「場」を提供するためのものです。まだ企画段階ですが、これにより利用者と SORD プロジェクトの間だけでなく、利用者間でも交流を深めていけるようなものにしたいと思っています。

【事務局から】これは、SORD プロジェクトの

事務局から情報の提供者や利用者に対する連絡を行うところです。

本ホームページは試験的に 4 月から公開したいと思っております。公開致しましたら、日本社会学会の会報や E メールを通じて連絡する予定でおります。簡単ですが、SORD のホームページについてご紹介致しました。